

会 議 録

会議の名称	平成 30 年度第 4 回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成 31 年 1 月 25 日(火) 午後 2 時～ 4 時
開催場所	エコプラザ西東京講座室 I . II
出席者	《委員》 山谷委員、一方井委員、福田委員、小早川委員、平山委員、笠原委員、塚澤委員、渡部委員、田中委員、斉藤委員、大沢委員 《事務局》 萱野部長、山田課長、都築ごみ減量係長、本多清掃係長、星川主査、岩崎技能長、寶槻技能長、江崎主任
議題	(1) 第 3 回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録の承認 (2) 資源物の戸別収集について (案) のパブリックコメント意見について (3) 資源物の戸別収集について答申 (案) (4) その他
会議資料の名称	資料No.1 第 3 回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録 資料No.2 資源物の戸別収集について(パブリックコメント意見・市検討結果) 資料No.3 資源物の戸別収集について答申 (案)
発言者	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
会長 事務局 会長 委員 事務局 会長 会長 委員 委員 事務局 会長 事務局 会長 委員 事務局	あいさつ 資料確認・説明 平成 30 年度第 3 回西東京市廃棄物減量等推進審議会会議録は承認いただけるか。 全員承認。 資料説明 資料No.2 市の考え、回答等を審議いただきたい。 6 件のパブリックコメントが出され、市の考えも掲載されているが皆さんから何か意見があるか。 この内容で承認いただけるか。 全員承認。 市民説明会には何人ぐらいの人が参加したのか。 12 月 26 日のエコプラザの出席は男性 8 名女性 13 名合計 21 名の出席があった。 12 月 27 日の田無庁舎は、男性 5 名女性 6 名合計 11 名の出席があった。 よろしいでしょうか。それでは、次に議題 (3) をお願いする。 資料説明 資料No.3 答申案についてご意見を頂きたい。 7 ページの開始時期と市民周知ですが、どのくらいの期間になるのか。 1 点目の開始時期ですが、ごみの収集カレンダーも発行されているので、市民生活を考慮し進めていきたい。2 点目の周知の関係ですが、市民説明会を 4 月か

委員 事務局 会長	<p>ら始めていきたい。また、エコ羅針盤・市報・分別アプリ等で周知していく考えである。</p> <p>市報は良く読んでいるので早い時期に掲載枠をとっておいてほしい。</p> <p>市報は象徴的なものなので、必ず掲載して周知していく。</p> <p>他にいかがでしょうか。市では、資源物の戸別と収集頻度の見直しをするということである。情報提供までに小平市では、資源物の収集を週1回から2週に1回へチェンジをする事になる。有料化と戸別収集することにより、毎週収集から隔週にするとのことである。不燃ごみは、週1回から月1回にする。容器包装プラスチックを取り除くことにより不燃ごみは、そんなに出ないとのことである。</p> <p>武蔵野市では、収集方式の見直しを行い、びん・缶・ペットは2週間に1回とする。他自治体も収集の効率化が進んでいる。国立市は、可燃・不燃・プラを有料化し、それに伴い、びん・缶・ペットを2週間に1回とした。新聞は、行政回収、集団回収、新聞店回収があるので、月1回にあらためた。資源物の2週間に1回というのは市町村で定着している。CO<sub>2</sub>の削減や拡大生産者責任の考え方を取り入れる必要がある。</p>
会長	<p>ご意見があればご自由に発言いただきたい。この内容でこの答申（案）をご承認いただければと思う。</p>
委員 会長 事務局	<p>全員承認</p> <p>次に議題の(4)をお願いする。</p> <p>今後の審議会の予定ですが、平成30年度の審議会は今回が最後となり、委員のみなさまの任期が31年6月までありますので、審議会を開催する際には、事前に連絡します。また、市長への答申は会長・副会長より、1月29日を予定しています。今回の会議録は、作成後、各委員に送付し、内容等を確認いただき、承認については、会長及び副会長に一任願いたい。</p>
会長	<p>今後の日程についてご質問は。</p> <p>5月から9ヶ月かけて答申ができました。最後に皆様から一人ずつご意見をいただければと思う。</p>
副会長	<p>質問をしてしまった回数が多かったと思う。できれば、もう少し活発な発言があってもよかったのではと感じる。</p>
会長	<p>市長に答申を提出した後は、4月から市民説明を行っていくと思うので、市民の意見を反映させ、より良い制度に仕上げていくことを事務局にお願いしたい。</p>
委員	<p>資源の戸別収集は、収集側から自分にも関わりがあるので、何かあれば連絡をいただきたい。</p>
委員	<p>第2回から出席したが、仕事に関わりがあるため、市民への説明を十分に行なってほしい。西東京市が住みやすいと言われるようにしていただきたい。</p>
委員	<p>社会福祉部局として参加したが、ごみを出せる人と出せない人のことを十分考えている。</p>
委員	<p>パブコメの中でもコミュニティについての意見がたくさん出ているので、今後はコミュニティに力を入れる必要がある。</p> <p>集合住宅に住んでいるので、集合住宅の人にわかるよう説明していただければ</p>

委員	<p>と思う。</p> <p>事業者に対しては、良いことは無い。戸建は戸別でマンションはごみ置き場では不公平である。時間をかけてマンションも戸別にしてほしい人もいるので考えてほしい。</p>
会長	<p>西東京市の集合住宅のフック式が全国で注目されている。大阪では電鉄系の大手マンション管理会社が管理人のグループワークを行なった。第一の困りごととしてごみ出しのマナーがあがった。有料化しているところは困りごとの第一にはなっていない。家庭ごみ有料化地域ではマンションでもルールが守られている。その講習資料に西東京市のフック式が載っていた。関西でも知られる存在である。フック式は市内約 150 箇所あるが、これをもっと普及していけば良いと思う。ごみ出しマナーをきちんとするという意味では良い。</p> <p>その他に集合住宅に対する対策は、考えているのか。</p>
事務局	<p>高齢者や体の不自由な方にふれあい収集を実施しているが、福祉部門との連携を計っていきたいと考えている。</p>
委員	<p>資源物の戸別収集まで来ていることを実感し、今後はもっと勉強していきたいと考えている。</p>
委員	<p>離れた集積所に出していたが、引越して、自分の家の前が集積所となったので、気持ちは分かる。不法投棄され一緒に考えている人がいてくれた。しかし、ごみ問題ではなくてもコミュニティは取れる。自分の家の前が集積所の方がデメリットは多いので、早く戸別収集になってほしい。</p>
委員	<p>推進員として活動しているが、プラごみを 2 重 3 重になって排出しているので、市報やエコ羅針盤に注意を載せてほしい。</p>
委員	<p>エコ羅針盤に質疑応答形式で載せてほしい。区別が分かりにくいものがあるので市民が疑問に思うことを載せていたただきたい。</p>
会長	<p>Q&amp;A 方式は分かりやすいと思う。</p> <p>この答申（案）をまとめ上げ、委員の皆様の意見を集約したものを入れてあるので事務局では、各委員の貴重な意見を常に念頭において進めていただければと思う。</p>